



2017-2018年度 主題

国際会長 : Henry Grindheim "Friendship across the Boader"
 「国境を越えた友情」
 アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"
 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 : 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
 湘南・沖縄部長 : 金子 功 「Y's の絆を強め、広げよう」
 クラブ会長 : 今城 宏子 「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」
 ~仲良く、楽しく、無理をせず~



今月の聖句

平和を実現する人々は、
 幸いである。
 その人たちは神の子と呼ばれる。
 マタイによる福音書5章9節
 (信徒の友"みことばにきく"より)

2017年8月本例会

日時 : 8月25日(金) 18 : 00開会
 《プログラム》

第1部 本例会

司会 今城T 受付 久保
 開会点鐘 今城会長
 ワイズソング・信条 一同
 今月の聖句・祈禱 今城H
 ゲスト・ビジター紹介 司会者
 報告・連絡・確認 今城会長
 Happy Birthday 辻Ts
 閉会点鐘 今城会長

◇You & I コンサート運営委員会

第2部 納涼懇親会食会

コンサート運営委員会の委員にも
 ご参加をお願いしています。



巻頭言

クラブ副会長 岡田 勝美

「老人は理想を語ろう」

先日、大学の同窓会がありました。
 「童研」という児童文化を研究する
 クラブで、人形劇、影絵、童話、児童
 心理など活動は幅広かったです。当時は
 学園闘争の直前でした。「童研」も「都
 児連」に加入しており会議など盛んでし
 ました。



秋の学園祭では某大学の論客が展示
 室に来るということで、戦々恐々
 となったこともあり、「童研」は主に人形劇、影絵、童話
 の公演を都内・地方で行う穏健派でした。しかし活動の度にお互
 いに議論をしあい、活力があり忘れられません。いまだに人形劇
 公演をされている先輩がいます。その先輩は地元で「語る会」を
 開き、シニアが集まりなんでも語り合い楽しんでいるようです。
 この歳でこのファイト。どこから湧き出るのでしょう。

後輩の私も後期高齢者の仲間です。趣味の仲間、地域町内会
 の仲間もあり、それぞれの活動・会議に出席することが多
 いです。理想を語るわけではありませんが地域の老人会での活動
 もまた味があります。些細なことで、すぐけんか腰になり大変な
 こともあります。しかし長い人生より学んだ悟り、人への優しさ
 も感じられます。

先輩の「語る会」は今の老人にとってとても必要かもしれま
 せん。「年寄り身体を動かさず口先ばかりだ」といわれ
 ます。しかし若者と違い経験に基づいた地についての理想を語りた
 いのです。また他人の話を知りたいのです。身体は動けなくなり
 ますが、だからこそ語り合いたいです。

そういう老人仲間はすばらしいです。私にとって「横浜つづきク
 ラブ」はそんな楽しいクラブです。(完)

《前月のデータ》

例会出席	18名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	12名	月間出席数	12名	使用済切手	0g	0g
ビジター	5名	メーキャップ	2名	プルタブ	0.6kg	0kg
ゲスト	1名	月間出席率	82%	スマイル	17,000円	36,000円

《報告》 2017年8月例会・クラブ総会 (湘南・沖縄部長公式訪問)

岡崎 さよ子 記

日時2017年7月28日(金) 18:30-20:00

場所かけはし都筑

司会今城T 受付・報告 岡崎

出席者: 今城T+H、岡崎、岡田K+M、久保、鈴木 S+K、林S+M、福島、三木、山中、横田 (14名)

ビジター: 金子功(横浜C)、加藤敏栄(横浜とつかC)、佐藤節子(厚木C)

ゲスト: 高松満至

《プログラム》

1. 開会点鐘 林S直前会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 唱和 一同
3. 今月の聖句朗読・祈祷 鈴木S
ローマ人への手紙2章11-12節
4. ゲスト・ビジターの紹介 司会者
5. クラブ役員就任式
金子湘南・沖縄部長立ち合いのもと、役員就任の宣誓が行われ、会長バッジが、林S直前会長より今城H新会長(第12代)へと引き継がれた。
6. 新会長挨拶
今城H新会長が挨拶に立ち、主題の『笑顔で奉仕、奉仕で笑顔』が改めて示された。また、スローガンは、直前会長が掲げた「仲良く、楽しく、無理をせず」を引き継ぐことを表明。

7. 2017-2018年度第1回クラブ総会

1) 会則に則り、会長が総会議長に就任し、書記(司会者)による総会定足数の確認が行われ、総会成立が確認された。

2) 議案審議

①前年度(2016-2017年度)事業報告

林直前会長により、昨年度の業内容につき、7月号クラブブリテンを引用して報告があった。なお、年初の肺がん摘出手術による体力の低下に加え、今回の移転先が遠方のため、

体力の回復まで、ご夫妻で休会されたいのご挨拶があった。環境を整えばぜひ復帰したいとのこと。

②2016-2017年度会計報告

鈴木茂前前期会計担当より、6月の事務例会(役員会)で承認された内容と変更がないこと、田中庸夫監事による会計監査が滞りなく行われた旨報告があった。

③2017-2018年度活動方針(案)

今城H新会長より、6月の事務例会(役員会)にて承認された活動方針(案)で変わりなき旨報告があった。

④2017-2018年度クラブ行事予定表(案)

6月の役員会で承認済み。

⑤2017-2018年度予算(案)

鈴木S今期会計より、既に6月の役員会にて概要承認いただいた予算案が提案された。

以上5項目につき一括承認を求めた結果、全会一致で承認された。

8. 湘南・沖縄部長並びにビジターのご挨拶
金子部長、佐藤会員増強主査よりそれぞれご挨拶があった。金子部長より、9月16日開催予定の湘南・沖縄部会への参加要請があった。
9. YMCA報告 山中担当主事(北Y館長)
10. 7月の誕生祝いは、岡田M、三木、今城Tの三名。
11. 各種アピールでは、担当者より、完成したYOU&Iコンサートのチラシ配布について協力要請があった。
12. スマイル(献金)
13. 今城H新会長による点鐘で閉会。

その後はゲスト、ビジターも交え、「ガブリエル」にて会食懇親会を行い、大いに盛り上がり閉会。

(了)



金子湘南・沖縄部長立ち合いでの役員就任式



新旧会長引継ぎ式



今月のHappy Birthday



ガブリエルではお客様とご一緒に



ご機嫌!!!

（お知らせ） 今回で第7回を迎えるつづきクラブ恒例の”You & I コンサート”が1か月半後に開催されます。曲目も決まり、チラシもできたので、いよいよ本番に向けての様々な準備が佳境に入ります。皆様もおそろいでお越しください。

～あなたとわたし 障がい児・者とともに～

第7回 You&I コンサート

会場 都筑公会堂 (都筑区総合庁舎内)
 横浜市営地下鉄「センター南駅」より徒歩5分
<http://都筑公会堂.jp/access>

2017年10月7日(土)
13:00開場/14:00開演

♪出演 横浜室内合奏団・横浜室内歌劇団 -佐藤大祐団長-

♪曲目
 組曲第7番よりパッサカリアHwv32 G.F.ヘンデル
 眠りの精 プラームス
 秋の歌 メンデルスゾーン
 罽 シューベルト
 オペラ座の怪人 A. ロイド=ウェーバー Ar 平 泉 奏
 歌劇「アルプスの花咲か妻さん」 平 泉 奏、台本 佐藤 大 輔 他

♡チケット
 障がい児・者 500円(付き添い1名無料)
 一般 1,000円
 小学生 500円(未就学児児童無料)

♡申し込み先
 横浜北YMCA
 You & I コンサート窓口
 Tel: 045-433-4321

主催：You & I コンサート運営委員会
 ・NPO法人アーモンド コミュニティ ネットワーク
 ・NPO法人アスタPC
 ・NPO法人脳外傷友の会ナナ
 ・NPO法人みんなの家
 ・横浜北YMCA
 ・横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

後援： 横浜市都筑区
 横浜市教育委員会
 都筑区社会福祉協議会

☆開場には車いす専用席を用意しています。
 ☆お車でお越しの際、障がい者手帳をご提示されると駐車料金が免除となります。
 ☆この事業は、都筑区社協「つづきふれあい助成金」の配賦を受け行っています。

「You & I コンサート」は、東日本が未曾有の大震災に見舞われた2011年、我がつづきクラブがで創立5周年の記念イベントを模索する中、大和YMCAが行っていた「輪和Waコンサート」にヒントを得て始めたものです。

障がいのある方や弱い方々に寄り添った活動を志す当クラブには格好のイベントということで、メンバー全員の賛同に支えられ始めました。

日頃、ともすれば敷居の高いクラシックコンサートを、誰もが楽しめるようにと、「バリアフリーのクラシックコンサート」をコンセプトに取り組みました。一番肝心な演奏は、当時「輪和Waコンサート」に出演していた、横浜室内合奏団（佐藤大祐代表）が引き受けて下さいました。以来7年間、毎回横浜室内合奏団の美しい音色と、楽しい「オペラ」がこのコンサートの看板となっています。

毎年、多くの地元の方々が、楽しみに開催を待って下さるイベントに育ったのは、佐藤先生とメンバーの皆さんのおかげだと思っています。今年も、皆様のお越しをお待ちしています。

You&I コンサート

過去のステージより



《特別レポート》

横浜室内合奏団被災地ツアー同行記

今城 宏子記

「音楽とオペラを楽しもう！～子供たちにお届けする夏のコンサート～」

◇8月5日～7日、YOU & Iコンサートでおなじみの佐藤大祐先生率いる横浜室内合奏団と洗足学園音楽大学の東日本大震災復興支援ツアーに、辻Ts、今城T両ワイズ共々同行して参りました。このツアーは洗足学園音楽大学、横浜ライオンズクラブそして当クラブの協力、および多くの皆様の支援により実現しました。

◇現地でのスケジュール調整や会場設営、また、佐藤先生との連絡もすべて仙台YMCA学院理事長で石巻広域ワイズメンズクラブの清水弘一さんが一手に引き受けて下さいました。本当に感謝です！

《第1日目》朝7時に地下鉄「高田」駅に集合、横浜駅に立ち寄った後、総勢31名（演奏者13名+ボランティアグループを中心とした応援団18名）を載せた大型バスは最初の目的地「山元町」へ。車内では自己紹介の時間が設けられ初めての方同士も打ち解けられました。途中、福島原発事故周辺通過中には路肩の線量計を目にしながら南相馬の現在の状況などお話ししました。

◇14時に「つばめの杜保育所」到着。楽団員の皆さんは疲れも見せずリハール。清水さんと仙台YMCAの村井伸夫総主事も駆けつけて下さる中、15時からのコンサートにはお昼寝を終えて元気いっぱいの子供たちが集いました。皆、震災後に生まれた子供たち、目を輝かせて聴き入っている姿に希望を感じました。当クラブのTKBでカードをお送りしていることに園長先生からお礼が述べられました。その後、津波が2階まで来たが、屋上の道具置き場に生徒・先生はじめ地元の方々々と避難して翌日、全員が救助された中浜小学校校舎に案内して頂きました。学舎は遺構として残されることが決まっているそうです。19時頃、女川温泉の宿に到着。海の幸と温泉に癒されました。

《第2日目》日曜日は「石巻市万石ささえあい拠点センター」でのコンサートが11時から。

◇その前に支倉常長ら慶長使節を乗せ太平洋を渡った「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船が係留・展示してある「サン・ファン館」に案内され、津波によって船内が破壊された無残な姿を見ることができました。今日は清水さんと「石巻広域ワイズメンズクラブ」の日野会長も同道下さっています。

◇コンサート会場には10時過ぎから三々五々、地域の方々が集まってこられ、開演を15分早めることに。その後も次々と来場される方に立ち見（?!）も。後日、地元の新聞「石巻かほく」の記事によると約70人の参加となっています。

最後に「ふるさと」「見上げてごらん夜の星を」を一緒に歌うと涙ぐむ方もおられ、私達も思わず

涙・・・となりました。終了後にはセンターの方達が用意して下さいました「石巻焼きそば」を一緒に調理して一緒にご馳走になりました！

優しい皆さんと優しい味に心もお腹も満たされ、感謝でした。

◇午後は石巻から雄勝へ峠を超え細い道を入江へ下り（運転手さんの超絶技巧！）津波のあと新しい堤防を築いていく現場やかさ上げの状況などを見学。

津波の力の強大さ、それに比べて現在の平和で美しい海、あまりの落差に言葉を失いました。

◇旧北上川にそって進むと「川の上・こども図書館百俵館」があります。16時からのコンサート会場は冷房がきかず、演奏者の皆さんにも応援団にもちょっと厳しい中、素晴らしい演奏でした。さすがプロ！その後、大川小学校を横に見て、日野会長からお話しを聞きました。（当時、近隣の小学校の教頭をしておられ生き残ることができた生徒さん達を受け入れる立場だった）

◇石巻市全体を見下ろす山の上にある「日和山公園」に案内して頂き当時の写真が多く展示されているのを見ると、あの日、TVに映し出された光景がよみがえってきました。復興は進んでいるものの「まだまだ！」です。

《第3日目》最終日、仙台に移動し、仙台YMCA立町会館のコンサートは11時から。

◇広々とした4階のホール（礼拝堂）にすでに椅子が並べられ準備が着々と進みます。村井総主事の号令(?)一過、若い職員たちがテキパキ動きます。10時半にはお客様が来場し始め、続いて幼稚園の園児たち、小学生たちが続々とリーダーに連れられて着席。学習支援教室の子供たちも参加です！椅子が足りず、どんどん追加。ホールいっぱいになりました。

◇佐藤先生の分かりやすく丁寧な解説に園児たちも真剣に聞き入ります。演奏が始まると引き込まれて行くのが分かります。元気のよい「さんぽ」には手拍子、祭囃子のような「趣」には後ろで踊りだす子もいて！「ありときりぎりす」が始まると「ありのお父さん」の演技が大うけ！笑い声が響きました。「ありの子」の歌声や「きりぎりす」のジャンケンゲームにも大興奮、オペラ歌手の皆さんも熱が入った演技で聴衆を沸かせました。約140人超の方が楽しんで下さいました。また、最後に、仙台Yの“平和七夕”にちなんだ、折鶴のレイが、演奏者並びに訪問団全員に子どもたちから手渡されました。

◇その後、有名な七夕祭りの会場まで徒歩10分、人の波に押されながら素晴らしい七夕飾りを見学させて頂きました。

◇14時にYMCA前を出発、感謝と興奮の冷めやらぬ

ままにお弁当を開きました。20時頃には横浜駅に到着、高田駅には20時半に到着でした。
 ◇佐藤先生ご夫妻、10か月の坊やをつれて参加下さった英莉香さん、楽団員の皆さんに心から感謝申し上げます。そして、小林様率いるサポーター合唱団の皆様にも！！

最初から最後まで様々なお世話をくださった清水様、現地でお世話下さった日野様、仙台YMCA 村井総主事に心から感謝申し上げます。そしてコンサートに参加して下さいましたすべての皆様に御礼申し上げます。
 ありがとうございました！ (完)



山元町つばめの杜保育所



Happy Birthday to you!



みんな一緒に



石巻市「万石ささえあい拠点センター」が2日目の会場



B級グルメ(?) 石巻焼きそばの作り方を教えて頂く。旨し！



◎万石センターで皆さんと ◎石巻市こども図書館「百俵館」で演奏前のひととき。実に暑かった。



最後の会場、仙台YMCAのホールにて。大急ぎで椅子を足したほど。



のし
 こども達からもらった、「平和七タ」のための折り鶴



《特別寄稿》 第27回アジア太平洋地域大会参加・パヤオセンター訪問報告

報告者 鈴木 茂

日時 : 2017年7月20日(木)～25日(火)

場所 : チェンマイ(タイ)

参加者 : 270名(うち日本から70名)

参加ツアー : 仙台青葉城クラブ・加藤重雄ワイズ
企画のツアー(ワールドトラベル社)

大会呼称 : オーストラリアが所属する南太平洋
エリアが、アジアエリアと合体することになり、
今回から"Asia Pacific Area Convention"と呼称変更

【アジア太平洋地域大会】

今回のアジア太平洋地域大会は、タイのチェンマイで開催されました。チェンマイは1296年にランナータイ王国の首都が、チェンライからチェンマイに遷都されたときからその歴史が始まるタイ北部の古都であります。その後14～15世紀にかけて繁栄しましたが、16世紀半ばにビルマのタウンゲー王朝との争いに敗れて一時その属国となり、疲弊を余儀なくされました。しかし、チャクリー王朝(現バンコク王朝)の後援を得て再興され、1939年にタイ国に編入されるまで、独自の地位を保持してきました。チェンマイはタイの首都バンコクから700km以上も北方に位置し、暑さがさほど厳しくなく、食べ物がおいしく物価も安いということで、定年後の永住地として移住する日本人も少なくないと言われています。人口約27万人、二つのワイズメンズクラブがあり、風情豊かな大学の街でもあります。

大会開会式は21日(金)13:30、クリスチャン・フラッグ、ワイズメンズ・フラッグ、エリア・フラッグ、地域内7区のフラッグ(オーストラリア・東日本・西日本・フィリピン・東南アジア・スリランカ・台湾)の入場行進によってスタートしました。エリア会長(AP: Dr. Tung Ming



(大会開会式 地域役員)

Hsiao、台湾)による大会挨拶、アジア太平洋地域役員(含区役員)紹介に続いて、地元有志による太鼓演奏、地元ワイズメンの子どもたちによる合唱などが披露されました。

基調講演は、「プミポン・アドウンラヤデート国王を追悼して」と題し、タイ国・教育副大臣によって行われました。プミポン国王は一般にラーマ九世と尊称されていましたが、2016年10月13日に90歳で崩御されました。ラーマ九世は長年に亘りタイ国の経済発展に尽力され、特に懸案であった治水、洪水対策に一貫して指導力を発揮されたと言われていました。加えて、その人柄と高い見識からタイ国民から深く敬愛されていました。基調講演は、人気のあった国王を偲ぶ内容でありました。

大会初日の晩餐会“IPAP Night”では、地元ランナ・チェンマイクラブのメンバーによるタイダンスの演舞披露があったほか、恒例の各区出演余興で東日本区は参加者全員が舞台上がり、「上を向いて歩こう」と「幸せなら手をたたこう」の2曲を大合唱しました。西日本区は「炭坑節」を全員で歌い踊っていました。



(IPAP 晩さん会)

2日目は午前中に「会員増強」・「YMCAとユース支援」・「CS活動」・「環境問題」・「メネット」の5グループに分かれた分科会が開催され、午後はエクスカッションが実施されました。しかし後記のように、私は日帰りで「パヤオセンター」の見学に行きましたので、最後の晩餐会“AP Ball”のみに出席しました。

最終日7月23日は日曜日に当たり、最初に8:30からの主日礼拝に出席しました。9:20から「エリア ユース コンボケーション」(AYC)参加の

(前ページより)

ユース全員が登壇し、ユースフォーラムの報告が行われました。前日の各分科会の報告を経て、来年2018年に韓国で開催される第73回国際大会及び再来年2019年に仙台で開催される第28回アジア太平洋地域大会のアピールが行われ、閉会式となりました。総じて今回の大会は、参加者がやや少なく盛り上がり欠ける感はありましたが、和やかな雰囲気は充分であったと思われま

す。到着すると、玄関前で生徒さん全員が出迎えてくれました。4歳から17歳までの女子29名、男子7名、計36名です。とても可愛い子どもたちで、皆でタイの歌1曲、日本のYMCAキャンプソング2曲を歌って歓迎してくれました。挨拶の後、施設内を案内してもらいました。子どもたちが生活する宿舎のほか、野菜畑、キノコ栽培小屋、ハンディクラフト製作作業場、ゲストハウス等を見学しました。生徒さんたちは、この施設で生活し、週日は近くの小・中・高等学校に通い、自由時には野菜作り、キノコ栽培、手工芸品製作等のライフスキル・トレーニングに励んでいます。子供たちの自立と生活の質的向上を目指したトレーニング活動であります。



(チェンマイ観光)

【パヤオセンター訪問】

今回タイ北部のチェンマイを訪問する機会が与えられたことで、予てより横浜YMCAが協力しているパヤオセンターを訪問見学したいと考え、横浜YMCAにアレンジをお願いして行ってきました。訪問したのは、今回の大会参加旅行にご一緒させていただいた加藤重雄さん(仙台青葉城クラブ)と井上修三さん(もりおかクラブ)と私の3人です。7月22日(土)8:00に、スワンさん(バンコクYMCA総主事)、ノイさん(パヤオセンター所長)、サイルーニさん(センタースタッフ・手工芸品製作指導)、トンさん(センターボランティア運転手)の4方が、中型ワゴン車で大会会場のエンプレスホテルに迎えに来て下さいました。

チェンマイから片道3時間半かけてセンターに



(パヤオセンターのこども達)

スタッフの方のお話によると、山岳少数民族が多いタイ北部のパヤオ近辺では、いまなお人身売買のリスク、両親の貧困・離婚・麻薬等による育児放棄のリスクに晒される子どもが後を絶たず、センターでは日頃から近隣の行政や学校等との情報ネットワークを構築し、緊迫性を判断しながら子どもたちを受け入れている、とのこと。パヤオセンターの "Protect A Child" project が現在も必要かつ有意義な事業であることを実感することができました。

以上

《奇稿》

お国柄

(匿名)

様々な国の人が乗った豪華客船が沈没しそうです。乗客たちを海に飛び込ませるには、どのように声をかければいいのでしょうか？

【ロシア人】には、海の方をさして「あっちにウォッカが流れていきました」と伝える。

【イタリア人】には、「海で美女が泳いでます」と伝える。

【フランス人】には、「決して海には飛び込まないで下さい」と伝える。

【イギリス人】には、「こういうときにこそ紳士は海に飛び込むものです」と伝える。

【ドイツ人】には、「規則ですから飛び込んでください」と伝える。

【アメリカ人】には、「今飛び込めば貴方はヒーローになれるでしょう」と伝える。

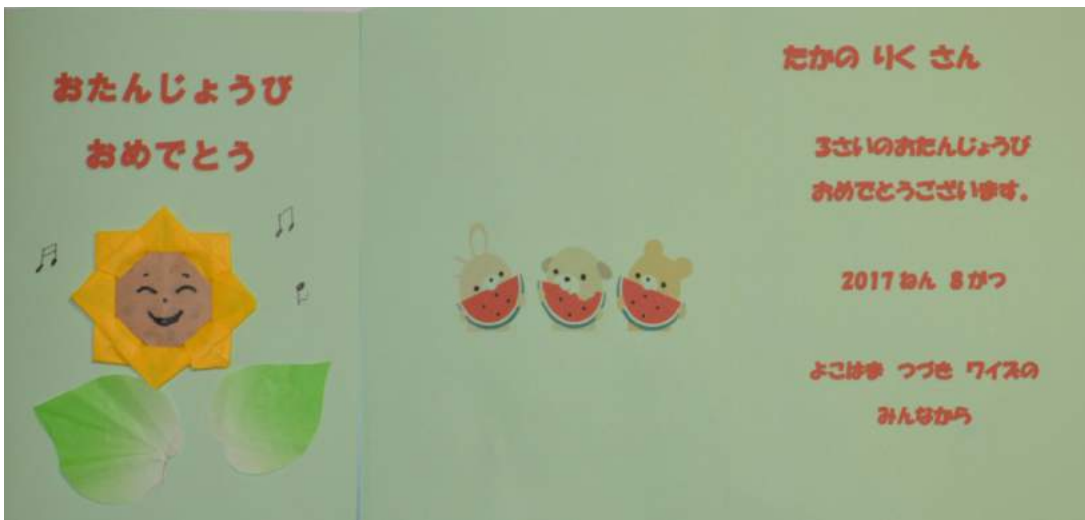
【中国人】には、「おいしい食材が泳いでますよ」と伝える。

さて、【日本人】には？ 「みなさん飛び込みましたよ」と伝える。



今日のTKB

8月のお誕生日カードは、ひまわりとスイカでした。このカードは、南相馬市の「原町聖愛こども園」、宮城県山元町の「ツバメの杜保育所」と老人ホーム「みやま荘」に送られます。心待ちにしてくれている人がいると思うと張り合いが増します。



横浜北YMCA便り

北Y館長 山中 奈子



YMCAの夏はいつもたくさん子どもたちと過ごします。昨年度から多くの地域の活動に参加しています。8月9日「大豆戸打ち水大作戦」が行われ、菊名小学校キッズクラブの子どもたち15人が参加しました。この会は地域の方々が

中心となり、大豆戸・菊名地域の環境を考える会です。昔からある気温を下げるための方法を子どもたちに伝えていくことを目的に実施しました。まずは地域の防災用井戸から水を運びます。自分たちが住んでいる地域に井戸があることを知らなかった子どもたちも多くいました。その後みんなで水を撒いていきます。40℃あった地面の温度が37℃までさがりました。「風が涼しいね」「水が気持ちいい」などたくさんの声が上がりました。その後、神社でスイカをいただいたり、太鼓を聞いたり夏の日を過ごしました。

元気なのは子どもたちだけではありません。脳の活性化と体の健康を維持するための体操「コグニサイズ」に

参加しているメンバーを中心に「目黒雅叙園・百段階段を見に行こう」ツアーが行われ、12名の参加がありました。台風接近という微妙な天気でしたが、キャンセルされる方もなく多くの皆さんにご参加をいただきました。「昭和の竜宮城」と呼ばれるほど様々な特徴のある宴会場を結ぶ階段は伝統的な最高芸術と称されています。暑くなるとなかなか外出をするチャンスが少なくなります。そんな人のためにもきっかけを作っていく企画になったと思います。



ワイズを学ぼう シリーズ 4

- 16) LT (Leadership Training)
ワイズメンズクラブ運動における様々な役職・職務について研修を行う。
- 17) 文献 (Documentation)
ワイズメンズクラブ運動に関する規約、マニュアル等の文献作成、慣習、管理を行う。
- 18) TC (Travel Coordination)
来訪するBF代表や国際役員の旅行程を立案し、旅行中の世話や受け入れの調整を行う。
- 19) ヒストリアン (Historian)
ワイズメンズクラブ運動に関する記録、資料を整備、保存する。

▽スタートダッシュの猛暑が嘘のような涼しい夏となったが、何か異変の前兆でないことを祈りたい。▽当クラブもメンバーの大幅異動があり、いささか冷え込んだ年度のスタートとなった。これをきっかけに、クラブメンバーの結束が高まうことを期待したい。終わり良ければ総てよし!」になるよう頑張ろう。▽You & Iメンバーでお馴染みの、横浜室内合奏団の東北被災地訪問ツアーに「編集子」も参加した。未だ復興とは程遠い場所もあれば、インフラ整備が進んでも人が戻ってこない場所もある。6年5か月は長かったのか短かったのか。オリンピックどころじゃないんじゃないの?」が忌憚ない感想。▽クラブでも部でもプログラム満載の秋近し、英気を養って迎えたい。(編集子)

《編集後記》